

大学生等対象セミナー
(かながわNPOセッション)

収穫体験をして

難民の人たちと一緒に

料理を作ろう

難民の方たちは、

祖国の紛争や人権侵害などにより、命からがら日本に来ました。

日本には1万人以上の難民申請がありますが、認定手続きには数年かかります。

難民申請者への支援は限定的で、生活に困窮する難民が多くいます。

アルペなんみんセンターは、

2020年4月より鎌倉のイエズス会の修道院を活動の拠点として、

最大30名の難民の受け入れが可能な施設を開設し、

住まいや食事、医療支援など、難民の方たちの「暮らし」を支えています。

今回は、同センターの敷地内にある畑で大切に作られた野菜を収穫し、調理します。

さまざまな事情から「難民」の立場に追いやられた人たちと一緒に

調理や食事をしながら、難民の人たちの暮らしを身近に感じることで、

国際理解や多文化共生について考える機会に

なれると思います。

◆日時: **2025年8月2日(土) 10:00~14:00**

◆会場: **NPO法人アルペなんみんセンター(神奈川県鎌倉市十二所80)**

JR鎌倉駅よりバス12分<鎌24(金沢八景駅行)十二所下車>

京急金沢八景駅よりバス18分<鎌24(鎌倉駅東口行)十二所下車>

十二所バス停より徒歩5分

◆対象: 主に神奈川県内在住・在学の大学生・大学院生等

◆定員: 30名(先着順)

◆講師: 漆原比呂志氏(NPO法人アルペなんみんセンター地域連携コーディネーター)

◆ゲスト: アルペなんみんセンターのご入居中の難民の方々

◆参加費: 食材費として1,000円をアルペなんみんセンターへ支払い

応募方法

右のQRコードあるいは下記申込フォームより

①お名前、②お住まい、③ご所属(大学名等)、④連絡用メールアドレス、⑤本セミナーを知ったきっかけ、⑥参加の動機、⑦食品アレルギーの有無を記入し、申込みをしてください。

※頂いた個人情報は、本セミナー運営に係る業務にのみ利用し、その他の用途で利用致しません。

https://willap.jp/p/acc_4614/daigakusei_seminar/

申込締切: 2025年7月18日(金) 17時 ※定員になった場合は、締め切りを早める可能性があります。



講師&ゲスト紹介

○漆原比呂志氏

(NPO 法人アルペなんみんセンター地域連携コーディネーター)

1966年神奈川県鎌倉市生まれ、在住。一般社団法人JLMMより1992年から3年間カンボジア（児童養護施設の職業訓練）に、1995年から3年間ベトナム（中部高原地帯ハンセン病村の生活支援）にコーディネーターとして派遣される。帰国後はJLMM事務局長として、カンボジアやフィリピンへのボランティア派遣やスタディツアーの企画など、日本からの支援にあたる。カトリック教会のERST（緊急対応支援チーム）として、国内の災害発災直後の被災者支援活動の立ち上げに協力し、2024年からは能登半島地震被災地支援に関わっている。上智大学「ボランティア論」非常勤講師、サレジオ中学高等学校および清泉小学校外部講師。



事前学習(Vimeo視聴)

事前に講師・漆原氏を講師とした6月15日に実施予定の多文化共生セミナーのアーカイブ動画(Vimeo)を視聴して質問を提出(申込者の方に後日、メールで案内)。

セミナー当日の流れ

入居されている難民の方のお話も伺います

1

講師レクチャー振り返り + 質疑応答

2

施設見学

3

難民の方々と一緒にクッキング

みんなで協力して作業します

4

みんなで食事

大きな食堂で感想を言い合いながら交流しましょう

畑で夏野菜を収穫！
運がよければ、
ご近所ニワトリの ANA ちゃんに
会えるかも？！

